

## 飯島賢二の『恐縮ですが...一言コラム』

### 第 68 回 恐れ多くも ... 天皇・皇后両陛下は今？

恐れ多くも...、「天皇陛下」である。というのも、先月、わが郷里・熊谷市をメイン会場として第 59 回国民体育大会が行われた。「彩の国まごころ国体」と称し、その開会式が熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で挙行され、天皇・皇后両陛下のご臨席を頂いた。

これを機に、多くの県民が両陛下を真近まぢかに拝謁しました接し、親しく陛下を思い感動した経験を持たせていただいた。小生も恥ずかしながら、その一人と言っている。

そんな経緯から、陛下のご予定に興味を持ち、小生なりに調べてみて、驚いた。時期的なことやアクシデントもあったが、これがすこぶる忙しい。

23 日の夜、江南町の両陛下の宿舎でも震度 4 の揺れがあり、両陛下は自室で深夜までテレビなどで状況を見守り、24 日朝には、随同行の漆間警察庁長官に対して「至急帰京して事態に対処して欲しい」と伝え、同長官は同朝、車で帰京した。満足にお休みなれないまま、24 日にラグビー、バレーボールを観戦、予定をこなし夕方 JR 新幹線で帰京された。その間両陛下は、国体に参加している新潟選手団にお見舞いのお言葉を伝えている。

27 日、パラリンピック入賞者を招き茶会。28 日、赤坂御苑で行われた秋の園遊会。ここで、東京都教育委員の米長邦雄氏に対して「日の丸掲揚と君が代斉唱」に関するお言葉が、多くの波紋を呼んだ。30 日の天皇賞観戦は災害の被災者に配慮し中止。

文化の日の 3 日、文化勲章親授式、4 日、今年度の文化勲章受章者と文化功労者を皇居・宮殿に招き茶会を開かれた。5 日、秋の叙勲の大綬章受賞者の勲章授与式が、皇居・宮殿で行われる。そして翌 6 日、新潟県中越地震の被災者達を見舞うため、羽田発の自衛隊機で新潟県入りされている。新潟空港からヘリコプターに乗り換えられ、長岡市、小千谷市、川口町を訪れ、被災者に直接お言葉をかけられた。天皇陛下から「気を付けてね」と話し掛けられた 70~80 歳の女性は「今日は助けていただきました」と涙ぐんだ。そのとき、小千谷市総合体育館は震度 2 の余震があった。が、両陛下は落ち着いたご様子で、微笑を絶やさなかったと言う。

確かに最近の皇室の言動は、嘗かつてなかった動きがあった。皇太子の「雅子様」発言、内容も驚いたが、皇太子がテレビに向かい「雅子が...雅子が...」と平気でしゃべっていたのは、正にびっくりものだった。天皇陛下の国体開会式でのお言葉も、異例の長さだった。大会委員長や知事、地元市長等の誰より長いお言葉に、正直言って驚いた。そして都教委に対する天皇陛下の「君が代の強制はよくない」発言である。等々...こんなことは今までの概念からは、ありえないことである。これも全て、「開かれた皇室」づくりなのか？

正否、議論の余地はあるかもしれないが、被災者のこぼれ落ちる感謝の「涙」と、埼玉県民の両陛下への感動のフィーバーも、複雑なるや、明らかなる事実である。